

平成18年度 水稻関係生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度水稻関係生育調節剤試験成績検討会は、平成18年12月6日、植調会館会議室(東京都台東区)において開催された。

本年は、健苗育成等を目的としたもの1剤(適用性3点)、

登熟向上を目的としたもの1剤(適用性3点)、倒伏軽減を目的としたもの2剤(適用性4点)について試験成績の報告および検討が行われた。

薬剤別の判定結果は、次表の通りである。

平成18年度 水稻関係生育調節剤試験供試薬剤および判定・使用基準一覧

〈健苗育成等〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有率 [委託会社名]	試験目的	判定	使用基準	継続の内容
1	T-2000S 粒 <i>Pseudomonas fluorescens</i> FPT-9601:10 ⁷ cfu/g覆土 [多木化学]	[適用性] 苗の伸長抑制効果および 葉害の検討	継		・効果発現条件の検討

〈登熟向上〉

1	RIC-1液剤および RIC-1粒剤の体系処理 海藻ホモネート [ロイヤルインダストリーズ]	[適用性] 苗質向上効果および本 田での生育、登熟、収 量、食味向上効果の検 討	継		・作用の確認 ・効果発現条件の検討
---	---	--	---	--	----------------------

〈倒伏軽減〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有率 [委託会社名]	試験目的	判定	使用基準	継続の内容
1	SSDF-20S 粒 ウニコザールP:0.002% (N-P-K:20-11-11) [住友化学]	[適用性] 倒伏軽減効果および葉 害の検討(年次変動の 確認)	実	処理方法: 側条施用 処理時期: 移植時 使用量:30~40kg/10a	
2	SSDF-21 粒 ウニコザールP:0.004% (N-P-K:21-11-10) [住友化学]	[適用性] 倒伏軽減効果および葉 害の検討(年次変動の 確認)	実	処理方法: 全面施用・土壌混和 処理時期: 耕起~代かき時 使用量:22.5~30kg/10a	